第42回雫石ジュニアアルペンスキー大会　ＴＣＭ資料

SHIZUKUISHI

１．会場・コース・種目

岩手高原スノーパーク　Ｗ４コース（SAJ公認コース）　　ＳＬ種目2連戦（2本レース）

２．選手受付・ビブ配布

当日、1階入口脇にて8:00から受付。必ずチーム代表者が受取る事。ビブ、ドリンク。

1～4組は赤ビブ1番からとし、**5～6組は黒ビブ1番からとする。**

３．リフト券販売、リフト運航時間

大会当日、8:00から2階チケット売り場で販売する。小学生は無料、大会割引券はありません。

競技役員は高速リフト8：30、選手も8：30から両リフト乗車可能。1～4組優先乗車の事。

小学生も2階チケット売り場にて無料券を受け取る事。

中学生の県内共通パス所持者は、1階受付にて必ず本人が受領・返却ｻｲﾝを行い、ﾘﾌﾄ券を受け取る事！！

４．アップバーン

大会専用アップバーン、ポールセットは無し。フリーのみ。スピードの出しすぎに注意すること。

５．スタート順・方法（タイムテーブル参照）

JOC岩手県選考レースのため、3組、4組を優先する。

3組、4組、1組、2組、5組、6組の順。2本目は**各組15番ﾘﾊﾞｰｽ**とし16位以降は1本目のタイム順とする。

SLはスタート合図員の「ﾚﾃﾞｨ・ｺﾞｰ」の合図により5秒以内にスタートすること。

インターバルは約30秒間隔とする。ジュリーの判断によりインターバルをあける場合もある。

６．ポールセット

シングルゲートとしφ27ミリを使用する。（第１旗門、最終旗門、ﾃﾞｨﾚｲﾄﾞｹﾞｰﾄを除く）

1組～4組は、JOCの競技種目を想定し、チューブポールをメインとしたセットで行う。

７．コースインスペクション時間、方法（タイムテーブル参照）

ビブを着用の上、上からデラパージュで行うこと。20分間、入場制限なし。

８．コース整備

随時行い、コース状況によりレースを中断する場合がある。

９．途中棄権

途中棄権者は、近くの競技役員にはっきりと意思表示を行い、コース脇をゆっくり移動すること。

10．競技者が止まった後の継続禁止（ICR614.2.3　抜粋）

競技者のスキーが完全に止まった場合、その競技者は、前の旗門やその後の旗門を続けることは出来ない。競技者がスキーを完全に停止させずに競技を継続する場合、次の競技者の走行を妨げてはならず、また次の競技者に追い越されてはならない。

※1本目にＤＦ（途中棄権）やＤＱ（失格）になった選手も、2本目にオープン参加で滑ることを許可する。滑走順は1～4組の選手は2組の2本目終了後、5～6組の選手は6組の2本目終了後。滑走する意思のある選手はビブを返却せず、2本目ｲﾝｽﾍﾟｸｼｮﾝに参加する事。必ずﾁｰﾑｷｬﾌﾟﾃﾝの同意を得る事。

11．ゼッケン回収

レース終了後、必ずフィニッシュエリアの回収袋に返却すること。あらかじめ棄権する場合は競技開始前に受付、フィニッシュハウスに報告の上返却すること。途中棄権者も必ず返却する事。

12．成績表、表彰式

仮発表タイム及び主審決定報告書は、放送及びゴールエリアに掲示、公式成績表はＨＰに掲載する。

表彰式は6組2本目終了後、直ちにゴールで行う。6位までの選手は集合の事。不参加者へは郵送する。

※表彰式終了後、JOC参加意思確認を行いますので、該当選手のコーチは集合下さい。

13．その他の注意（補足）

1　点呼は約10分前に行う。棄権者がある場合、繰上げスタートするため、早めに集合する事。

2　クラッシュヘルメットを必ず着用してください。あごひも必須。

3　サポーターについて、コース係の指示に従いコース整備を兼ねて降りてください。（状況次第）

4　競技時間を変更する場合、場内放送で随時連絡するのでご留意ください。

5　当日は一般営業もあるため、スピードの出しすぎには十分注意する事。また、スタート・フィニッシュ地点へのごみの投げ捨てや、一般客の迷惑になるような行為をしない事。

6　選手の荷物について、3階広間に置くこと。貴重品は置かない。レストランへの放置禁止！

14.各種感染症対策について

・大会前から体調管理を行い、体調不安者は参加自粛下さい。換気対策のため、ｽﾀｰﾄﾃﾝﾄは設置しません。